



ニュースレター あすか

2010
10月号

通算211号

2010年10月1日

第55回

あすか交流会の

ご報告



まやるちよーく 高島 瑠美

7月24日(土)の13時から緑井のさ
番館あすかホールにてあすか交流会を
開催しました。
炎天下の中、27名のご家族がご参加く
ださり、ありがとうございました。

今回のテーマは『介護技術のワンポイントア
ドバイス』でした。
介護技術のワンポイントアドバイスでは、立ち
上がり・座り直し等を職員が目の前で実践し、ご
家族も一緒に体を動かし体験しました。
ついつい、力任せになってしまつて介助ですが、体
の動きのポイントを知ることですしの力で介助
する事ができます。

交流の時間では、グループでの話し合いをし
ました。各グループから、介護は大変だけど、笑
顔を見ることが頑張れる力の源になっている
というお話をたくさんしてくださいました。
発表にご協力くださったご家族にシヨートス
テイみどりの庭園でとれたきゅりののお土産
がありました。ご参加いただいた皆様のお陰で、
今回も笑いのおふれる会になりました。
職員もご家族と同じように皆様の笑顔が力の源
です。お一人おひとりの心によりそうサービス
が提供できるようがんばっていききたいと思いま
す。心配ごとやご質問は、遠慮なさらず職員に連
絡頂ければと思います。

生理的パターンに沿った介護法

どの介助のポイントも

足を膝よりも後ろに引く事
前かがみになる事



参考資料本「新しい介護」



“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます
<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：浜本 正美)
住所：〒731-0103
広島市安佐南区緑井2丁目12-25
TEL:082-879-3143 FAX:082-879-3190

【目次】	【ページ】
1. 小窓の花ことば シリーズ8.....	2
2. CS クレド委員会活動報告	
3. 夏だ 祭りだ いわや祭	
4. 「野の花美術館」作者 今井恵美子様をお迎えして...	3
5. あすかグルメだより シリーズ7	
6. あすか事業所だより.....	4
7. 園芸療法 第2回.....	5
8. アートの世界	
9. おもしろきかな我が人生 ~樋口 徳磨さん.....	6
10. 若竹句会 8月作品抄.....	7
11. あすかスタッフに迫る!.....	8

ハウズキ



さて、今小窓には「ハウズキ」が挿してあります。お盆とハウズキは深い結びつきがあるようです。私はこの花の形から造形された「ハウズキ提灯」に、より関心があります。それは、みなさんが懸命に取り組まれているリハビリの希望の灯りになるように思えるのです。

小窓の花ことばシリーズ



しゅりあちよーく

リハビリトレーナー

高柿 美恵

Kさんは若い頃から、野球、バレーボール、ヨット、少し年取ってからはゴルフの奥深さに魅せられ特に好きなスポーツとして楽しんで来られました。

むろん、「好きこそもの上手なれ」で友人たちからも一目おかれるスポーツ万能人でした。

また、Kさんはスポーツだけでなく囲碁、マージャン、パソコンなど幅広い趣味と知的好奇心に満ちた「男のダンディズム」を地でいくような人でもあります。

そのKさんが皮肉にも神経系統の難病に罹ってしまった。運動障害で不自由な生活を余儀なくされることになりました。

しかし、Kさんは落胆することなく、自分の病気を実によく理解しておられ、病気をうけいれて、若い頃からの運動習慣を活かして今懸命にリハビリに取り組まれています。

さて、今小窓には「ハウズキ」が挿してあります。お盆とハウズキは深い結びつきがあるようです。私はこの

リハビリトレーナーの「問わず語り」

CSクレド委員会 活動報告



CSクレド委員 中井 祐子

朝のあいさつ運動を開始しました。

あいさつは、心と心を通わせる手段です。気持ちのよいあいさつは相手の心を幸せにします。すべての職員が、利用者のみならず、外来者のみなさま、職員同士、本当に心をこめてあいさつが出来るまでCS委員会はがんばっていこうと思います。

そこで、7月より月2回、朝のあいさつ運動を開始しました。

CSクレド委員が、朝、職員の出勤時間に合わせて入口に立ち、職員一人ひとりにあいさつをしました。「おはようございます!」と声をかけながら下記のちらしを配りました。

職員からは、「おはようございます。相手を見てあいさつね。」「クレドがんばりましょう。」「と出勤前のコミュニケーションの一つになりました。まだまだ始まったばかりで成果は見えてきています。

せんが、あいさつの意識付けになればと思っています。



ショートいわや 夏だ 祭りだ いわや祭

8/1

2

あすか療養センターは8月1日、開設2周年を迎えました。それに合わせて「いわや夏祭り」を開催しました。始まる前から、夏祭り会場は熱気でマンマン。

まずは 夏の暑さを吹き飛ばそう!ということと職員による、かき氷早食い競争です。

「がんばれ!」というご利用者様の熱い声援に、職員にも力が入りますが、冷たいかき氷に大苦戦。会場はご利用者様の大きな笑い声に包まれました。

2周年記念のために用意された紅白饅頭はひとつが紅白に分かれていて、とてもきれいでした。

「食べるのがもったいないねえ」と言いながら、「おいしいねえ」「餡子の味がいいね」と大好評でした。

お饅頭を堪能したあとは、全員で夏の歌 うみ・かもめの水兵さん・りんごのうたなどを合唱しました。

夏の暑さを吹っ飛ばす夏祭りになりました。

これから、元気いっぱいな職員とご利用者様で、新しい「いわや」の1年がスタートします。



1位は真ん中の林さんでした!



野の花美術館「作者

今井 恵美子様をお迎えして

真夏の太陽が照り付ける7月30日 野の花美術館の作者、今井恵美子様が、あすか療養センターにいらっしやいました。ご自分の描かれた「絵に会いたい」と姫路からいらしてくださいました。今井様は、まるでわが子を見るような優しく温かいまなざしで、一つひとつご自分の作品と対面されていました。フローアやエントランスを暖かく彩ってくれているたくさんさんの「絵」はもうすっかり、ご利用者様の生活の一部に溶け込んでいますが、「生の今井様」との対面はご利用者様の方々にとっても感激でした。握手をしたりお話をしたりと和やかなひと時を過ごしました。



「百合」

絵は水彩画の中に墨を使うのが特徴の「墨彩画」という技法で描かれ、「花から気をもらう」と言われる絵は力強く、また女性らしい優しさにあふれています。「身体的に大きな絵は描けなくなつた」と言われていましたが、今井様からは「温かさ」と「いやしの力」を感じました。これからも私たちを癒して下さる絵を描き続けていただきたいと思います。



今井恵美子様作品「菖蒲と水すまし」の前で

あすかグルメだより

シリーズ7

まやるちよーく

福田 真由美



私の一番のお勧めグルメは、押し寿司です。うなぎやしいたけ煮、きぬさや、さくらでんぷんで飾られた押し寿司は、濃厚な味付けのうなぎと酢飯が絶妙なバランスで口の中で混ざり合い、とても美味しいです。えびと錦糸卵で彩りよく飾られたお寿司はさっぱり味。

この押し寿司を見るたびに、一つ一つ丁寧に作ってくださっている厨房さんの姿が目につかびます。「おいしそう」と笑顔になられるご利用者様を見るたびに、とても嬉しくなります。

その他、赤だし、副菜として、もずく三杯酢・南瓜の煮物と小鉢が並び、デザートにはつるとした喉越しの抹茶のババロアと夏らしい組み合わせです。暑い夏は、清涼感のあるこのメニューが食欲をそそります。



8月7日

寿司の日

- 押し寿司
- 赤だし
- 南瓜の煮物
- もずく三杯酢
- 抹茶ババロア

つごいの家

足湯

7/22

あすか療養センター5階にある足湯に行きました。

普段の入浴とは、また一味違った心地良さに「ずっとつかっていたいね!」とたくさんの方々の笑顔がわきおこりました。湯上りにはテラスに出て5階から見える景色を楽しみながらお茶を飲みました。「風が気持ちいいね。」とみなさんとともに楽しめました。ご様子でした。



いい湯だな

足は第二の心臓と呼ばれており、足を温めることで全身の血液循環が良くなります。そして、免疫力が高まり病気の予防にもつながります。これからもたびたびあすか療養センターの足湯に通おうと思います。



おいしいわ

まやるちよーく

「パッチワーク」密着取材

今月のまやるちよーくの
記事はグループ活動の取
材としました。

パッチワークは毎週水曜日に、山口先生の指導のもとに行われています。

雰囲気は、穏やかで和気あいあい。縫物大好きの方々がばかり。でも初心者も大歓迎。おしゃべりも作業のうちという楽しいクラブです。

今まで作った作品は数知れず・・・手提げ袋や口金のポーチ、ストラップ、コサージュなど。作品によつては何ヶ月もかかることもあります。

生地が余ればそれをまた使い新しい物を作る、パッチならでの技法で、無駄なく全て使い切ることができるのもうれしいです。



ポーチには、
保険証など入れます

▶ベスト作り



▶ベストの出来上がりはこんな感じですよ



「集中してすぐ時間が経ってしまふ」「本当に楽しくて一日でもやっていたい」「先生も良い方でうれしい」「完成したら着てきます」と語られる皆様の表情はとても活き活きとされています。

シヨートみどりい

夏祭り

8/9

今年の夏祭りは、魚・お菓子釣り大会を楽しみました。

魚とお菓子袋の入ったプール。水をはったプールには、色とりどりのヨーヨーが入っています。

5人づつでプールを囲み、竹竿で引掛けて釣りを楽しみました。フックに引掛けて釣るのは、もちろん。竹竿の先端でお菓子袋を狙う人もあり、「釣れたよ」の声や、満面の笑顔でにつこりされる方など、フロア内は盛り上がりま

した。釣りの後は、冷たい赤や黄色のかき氷をほおばりました。



釣れた！釣れた！

しゅりあちよーく

野ばら

8/12

夏祭り盆踊り

月が出た出たあ月がたあ〜ヨイヨイフロアに響き渡る和太鼓の音色で夏祭りのスタートです！

皆様輪になって盆踊りを楽しみ、「あて」「金魚すくい」「駄菓子・ラムネ」の出店を、キラキラと輝く笑顔でまわっておられました。出店の手伝いで、はりきって場を盛り上げる方、「次はあそこに行きたい！」と明るい表情ではしゃがれる方、ラムネを二気飲みされる方・・・祭りの雰囲気をたっぷり味わえても楽しかったよ！」と大盛況の夏祭りでした



皆さん、
おきれいですね！

vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower

園芸療法

「心が動くとも体も動く」をテーマに

第二回

園芸療法士 西野 清子



例年にならない暑さの中、いわや5F 回廊式リハビリガーデンもほぼ形が出来上がりました。植えたものは主に花木でハナミズキ、ヒメシヤラ、オオデマリ、ツルバラ、セイヨウニンジンボク、モミジ、サルズベリなど20種類ほどです。季節折々の植物を見ながら歩行訓練や園芸療法プログラムに活用していきます。



リハビリガーデンの完成です。まだまだお花が増えますよ。一度見に来てくださいね。



先日、ショートステイの利用者さんとガーデンを散歩したところ、屋上の変わりように、とても感動され、花木を一本一本じっくり観察しながら散歩されました。そしてベンチに腰かけて昔の話をしてくださいました。開放的な場所で大々さんお話がされたくなったのでしょうか。またいろんなことを思い出し、号泣される方もいらっしゃいました。

人間にいろんな作用をもたらす植物。身体のリハビリだけではなく、感情にも訴えかけることもしばしば。これからも利用者様の感情に寄り添える活動をしていきたいと思えます。

早速、ガーデンで咲いたツルバラの花を足湯に浮かべてみました。

バラに思わずうっとり気分は叶姉妹

vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower

アートの世界

絵画グループの個展

しゅりあちよーく

佐々木 和枝様



「4年前に何もわからず始めて、全体の輪郭のとり方等、先生がアドバイスして下さって初めてわかった事が沢山あります。色を出すのが難しいけど、出来上がったらとても嬉しいですよ。」と、柔和な表情でお話して下さる佐々木様。



どの作品も、どこか異国を思わせる落ち着いた色味です。花の作品は勢いがあがり華やか、「和」の作品は、佐々木様のカラが生かされモダンな仕上がりになっています。

まやちよーく

小蔦 シズコ様



「飾ってくれてうれしかったよ。また作品ができたなら、個展をお願いします。」と笑顔で話される小蔦様。

どこまでも透明感のある青い風景。細部まで描き込まれた抱きしめたくなくなるほどの愛らしい子猫や子犬達。どちらも小蔦様の大好きな画題です。



すてっぶ
ひぐち
樋口

とくま
徳磨さん



おもしろきかな我が人生

昭和6年9月19日(79歳)



「すてっぶに来て
本当に良かったよ」

・お住まい...安佐北区久地

・好きな食べ物...川魚・お酒

・趣味...野菜や菊作り
パソコン

【子どもの頃】

わしは、生まれも育ちも安佐町久地なんよ。家族は、父親、祖母、4歳下の弟、10歳下の妹の5人暮らしで、母親はわしが13歳の時に病死したんよ。じゃけえほとんど祖母に育てられたようなもんよ。

あの頃は戦時中で全然食べ物なかったんじゃが父親が小さいけど農家をしようたけえ、ジャガイモやサツマイモをなんとか食べれようたんじゃ。時々、大根を白ご飯の中に入れて食べようたりもしたもんよ。ある日学校帰りにあまりにもお腹が空いての、友達とよその柿をもらったり、よその畑のサツマイモを採って食べて帰ろうたんよ。サツマイモは硬かったけど、お腹が空きすぎて、気にせずに食べようたよ。それから数日後に学校に苦情がきての、採った人が呼び出されたんよ。わしを含めて10人はおつたかの...。先生にずぼんの裾をくれと言われ、砂の上で正座をさせられての、小さい石が足に刺さって痛かつたんじゃけえ。それから両手を出せと言われて、自分が採った数だけ思いつきり竹でたたかれたんじゃ。

しろかつたよの。それから、岩と岩の間に手を入れて魚のヌルヌルとする感触を喜んでたよ。

【木工職人から牛乳販売に...】

父親が無職だったので、子どもには手に職を付けねばとの思いから、焼け野が原にあった、三篠木工へ18歳で入ったんよ。当時の通勤は川を船で渡った所に飯室駅があつてから、それがまた一両編成の汽車なんよ。可部までそれに乗って行き、乗換えてまた横川まで一時間かけて行きようた。行きも帰りも大満員で窓枠をこして乗り降りしたこと時々あつたんじゃ。仕事は丁稚奉公で今でいう弟子入りで主に机や下駄箱を作る手伝いをしようたんよ。それから4・5年して机や下駄箱、水屋など一人で作れるようになつたんよ。その木工に7年くらい勤めて辞めての、その後はいろんな所で働きようたよ。

ある日、東洋楽器株式会社できたというのを知り、すぐに応募したんよ。それからとんとん拍子で試験に受かり働き始めたけど、通勤がやねこくて3年で辞めてしようた。

ちょうど辞める時期に牛乳販売の話があつてすぐにやろうと思つたんよ。販売は売つた分だけ自分の給料になり、特にノルマとかなかつた。朝は3時30分起床、4時には家を出発しようたわ。最初は120本くらい売つていたの

が、年数を重ねるごとに増えていき1000本くらい販売するようになつたんよ。それから何年かして、スーパーができて始めて牛乳瓶からパックになり値段も安くなり、瓶が売れんようになつてから儲けが悪くなつたんよ。でも嬉しいことがあつて、良い客は隣にスーパーができて6本くらい買つてくれようた。昭和35年2月からこの度病気になるまでお得意様皆様に助けられ、良い仕事だったと本当に心から喜んでるんよ。

【すてっぶに来たきっかけ】

2年前に病気をして三週間入院しての。リハビリをせんといけんようになつたけえ、退院後にケアマネさんと一緒にすてっぶともう一つ違う事業所を見てまわつたんじゃが、すてっぶに決めたんよ。決め手は一人ひとりにきちんと指導してくれようというところ。すぐ、ここにしようよと決めたんよ。渡りに船で本当に良かったと毎日喜んでやつてるよ。



がんばるとるよ

70歳でパソコンを習い、囲碁やゲームを楽しんでおられる樋口様。すてっぶを選んで頂いたこと私たちも嬉しく思います。たくさんの事をこ存じの樋口様は、野菜作りや花作りの事等いつも教えて下さいます。これからもすてっぶで楽しくりハピリ頑張つて行きましよう。

すてっぶ 寺本 友江



若竹句会八月作品抄

信廣高陽 選 (平成二十二年)

土用には **ウナギ食膳 皆元氣**

常広 信枝

〔寸評〕土用の丑の日に鰻を食べると暑さに冒されることがなく、皆元氣になる。これは晩夏の季語「土用鰻」の説明になりますね。

(例) 土用鰻店ちゅう水を流しをり 阿波野青畝

土用鰻の季語を使って鰻屋の繁盛振りを句材にすると俳句の巾が広くなってきました。



大木に **いのち短き 蝉絶る**

常広 信枝

〔寸評〕蝉は成虫として地上生活は数日かといわれています。小さな蝉は大きな命を託すとみた作者の目は鋭い。

炎天や **陰を求めて 立ち止る**

河野 一枝

〔寸評〕「炎天」も「炎天下」も昨今とみに多用される季語の一つ。有無をいわせぬ鮮烈な印象が、素早く作品を包みこむためでしょうか。この句、まだ格好な陰はみつかっていないが、とりあえず歩を止めて考えてみよう…ということですかね。照りつける真夏の日中の、もえるような空が広がっています。秀作です。



一週間にすぎない木を選んで、は

赤紫蘇や **出番を待つは 梅次第**

河野 一枝

〔寸評〕紫色の葉は香りよく、食用に供しますが、梅干の色付けなどにはなくてはならないものです。梅あつての赤紫蘇ですから出番は梅があつてのこと、梅次第ということになるんですね。梅が威張ってるみたいで面白い表現です。

炎天は **もうこりこり 秋よこい**

小西 春良

〔寸評〕「炎天」は、照りつける真夏の日中の、もえるような空をいいます。熱中症搬送三万人、直後に死亡132人、新聞やテレビで話題になった今年の異常気象。この名句で一日も早く秋を引き寄せることができるでしょうか。乞うご期待。

玄関で **命を閉じる 油蟬**

小西 春良

〔寸評〕玄関は、我が家の正面に設けられた、客を迎え、送る神聖なところである。人間社会ではあり得ない所で命を閉じた油蟬を発見した作者、愛着の一句である。

(例) 油蟬死せり夕日へ両手つき 岡本 眸

もあり、ジージーと油を揚げるような声で鳴く親しみもあるのでしょうか。

梅雨出水 **家道つばい 命まで**

西 富枝

〔寸評〕梅雨の末期にしばしば豪雨をみることがある。近くは庄原豪雨、全半壊26棟、一人死亡。農作物被害一四九戸、七〇〇〇万円。家・道・人の命まで奪ったのである。

世界中 **極暑続きで 大ピンチ**

西 富枝

〔寸評〕地球温暖化防止が叫ばれて久しい。にもかかわらず、熱中症の増加など世界各地から極暑の報道が続いているのが現状です。

今日も又 **誰を待つのか 月見草**

綿谷カツエ



〔寸評〕月見草は、性質が弱く、野生化することなく、今日ではほとんど見られなくなり、代わって待宵草、大待宵草を俗に月見草と呼んでいます。月の昇る頃、河原や海への草原などの薄暗がりの中で四弁の黄色い美しい花を見る間に咲かせます。さて、誰を待っているのでしょうか。作者のあなたかも。

梅雨明けや **眼鏡ふきつつ 空を見る**

石原 守恒

〔寸評〕いち早く梅雨明け宣言がなされた沖繩から、しばらくして日本全土を蔽っていた梅雨前線が北上して洋上に抜けると梅雨明けとなります。都市山村を問わず、陰つつな梅雨から抜けた気分は、なかなかよらしいものです。「眼鏡ふきつつ」に、その気持ちがよく表れています。

〔選者 吟〕

紙袋 **とれば噂の 枇杷美人**

あすかスタッフに迫る!

ショートいわや
介護職員
ユニットリーダー
栗原 清志さん



Q. あすかに入社して何年ですか? 入社のご動機は?

A. 一年半です。

あすかでは勉強会・講習会があり、スキルアップや自己確認の場があることです。他の事業所にはないことですよ。

Q. 仕事をするうえで心がけていることは何ですか?

A. ご利用者様にまた次回もご利用していただけるように、笑顔を引き出すことです。それから、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいと思っています。

Q. 趣味は何ですか?

A. スノーボードです。5年位前に恐羅漢に連れて行ってもらってからです。初めてなのに恐羅漢の頂上から降りたんですよ。でもそれからすっかり、はまってしまいました。

Q. 自己PRをお願いします。

A. 介護の仕事は人と人のかかわりです。

ご利用者様の笑顔と「ありがとう」と言われることばが嬉しくて続けてこれました。今はいわや3階のユニットリーダーとして、責任ある仕事をさせていただいていますが、後輩の指導を行ううえでも、「クレド」にのっとり、親切で丁寧な指導を心がけています。

いわやスタッフの声

おっとりしたことばづかいで、柔らかな物腰の栗原さん。

スノーボードが趣味なんて、かっこいい~。

これからも職員全員で力をあわせて「いわや」を笑顔でいっぱいにしていきましょう。

インタビューー いわや 迫 哲子



3S
Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家(Specialist)としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し(Sympathy)必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全(Safety)に対して細心の注意を払います。

~ 医療法人あすかの理念 ~

当法人は ISO9001 の認証施設です



【編集後記】

今年の夏は、猛暑続きですが皆様体調の方は大丈夫でしょうか?
毎日暑い日々ですが、医療法人あすかでは、夏を楽しむ企画が各事業所で行われました。誌面にもっともっと、掲載したい記事・お写真がたくさんあったのですが、誌面の都合上割愛させて頂きました。
今月は、特別に3・6ページもカラー印刷です。どうぞお楽しみください。

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16
デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
通所リハビリテーション すてっぷ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177
緑井3丁目20・1・103

医療法人あすかの医療・介護関連施設